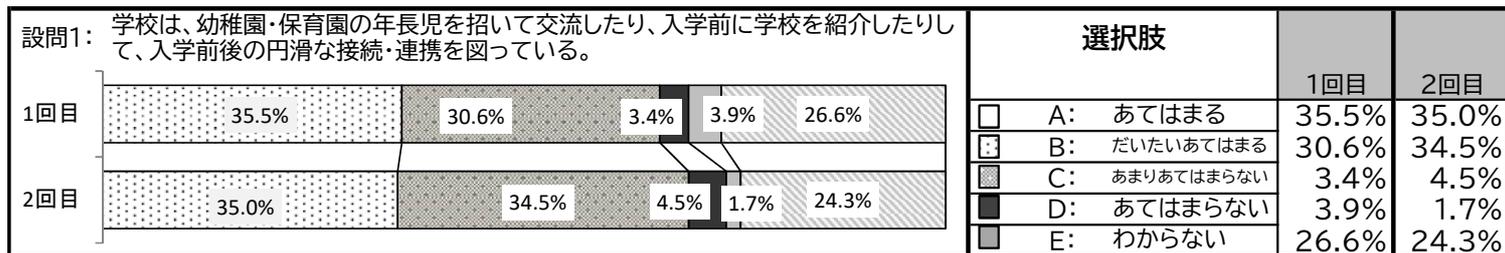


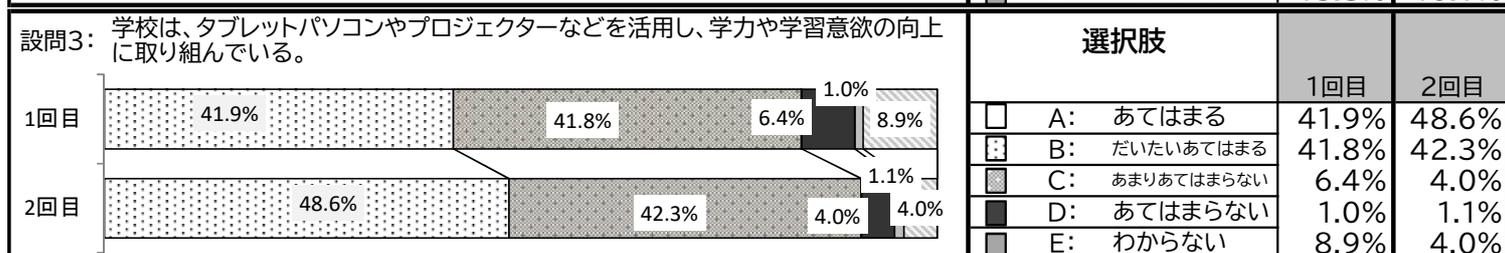
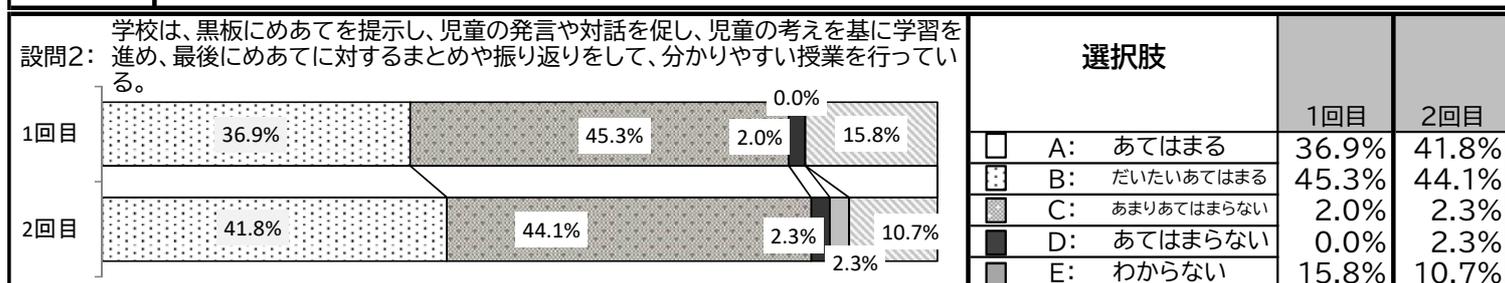
令和5年度 学校評価アンケート

令和6年1月17日
豊島区立池袋第三小学校
校長 仁科 光一

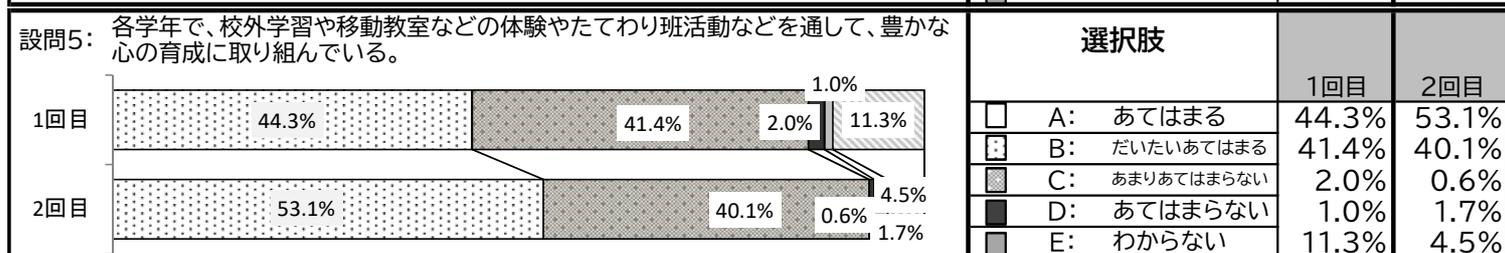
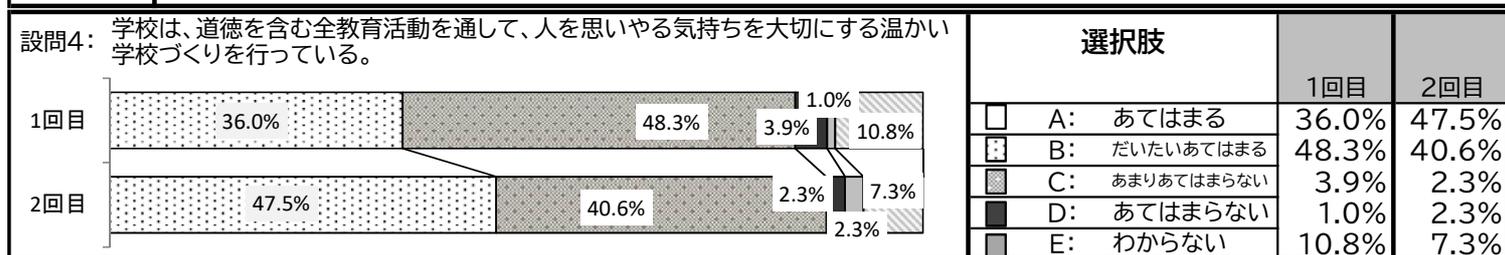
学校評価アンケートは教育活動の充実に向け、改善の視点を見いだすための一つの方法として、実施させていただきました。その他ご回答いただきましたご意見・ご要望につきましても今後のより良い教育活動に生かしてまいります。ご協力誠にありがとうございました。



就学前や卒業後の円滑な接続
1回目と比較して2回目は肯定的な意見が増えています。昨年度から再開した保育園交流や年長園児の見学などの効果が現れてきたと捉えています。一方で、「分からない」が24.3%となることから、まだ学校の取り組み自体が保護者の方には十分に感じ取れない部分もあるようです。学校公開等で積極的に活動を公開したり、HPや保護者クラスルームなどでの情報発信に努めていきます。



確かな学力の育成
設問2「分かりやすい授業」については、「あてはまる」が48.6%、「だいたいあてはまる」が42.3%で合計が85%と肯定的な回答が高い数値でした。今後も学力向上を目指して、教職員の校内研究や日常的な研修を通じた授業改善、全校で統一感のある指導に取り組んでいきます。
設問3「ICT機器を活用した学習意欲の向上」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の合計が90%を超えました。また、「わからない」の値も1回目と比較して約半減しました。土曜授業等でICT機器を活用した授業を参観していただく機会が増えたことが要因であると考えます。今後も日々の教育活動の様々な場面において、ICT機器を効果的に活用した学習意欲の向上に努めていきます。



豊かな心の育成
設問4「道徳教育、全教育活動を通して温かい学校づくりを行っている」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」が、合計88.1%でした。ふれあい月間での取り組みや、道徳授業地区公開講座の授業参観に一定の効果が見られたと考えています。今後も児童の心を育てていくために、道徳授業の充実とご家庭との連携を深めていきます。
設問5「豊かな心の育成」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の合計が90%を超えました。5年生の富士五湖移動教室の再開、昨年度からの異学年交流の継続が効果を示したと考えます。今後も様々な活動を通して、豊かな心の育成に取り組んでいきます。

設問6: 学校は、児童の健康を守り、日常の体育の授業、体育学習発表会や体力テストなどを通して体力の向上に向けて取り組んでいる。	選択肢		1回目	2回目		
	1回目	41.9%	41.4%	10.8%	2.5%	3.4%
	2回目	42.9%	37.9%	8.5%	4.5%	6.2%
	<input type="checkbox"/> A: あてはまる		41.9%	42.9%		
	<input type="checkbox"/> B: だいたいあてはまる		41.4%	37.9%		
	<input type="checkbox"/> C: あまりあてはまらない		10.8%	8.5%		
	<input type="checkbox"/> D: あてはまらない		2.5%	4.5%		
	<input type="checkbox"/> E: わからない		3.4%	6.2%		

設問7: 学校は、給食に季節ごとの行事食や外国の食文化をメニューに取り入れたりして、栄養に配慮したおいしい給食を提供している。また、食にまつわる知識や情報を給食だよりで伝えている。	選択肢		1回目	2回目	
	1回目	67.0%	28.6%	0.5%	3.4%
	2回目	73.4%	22.1%	1.1%	1.1%
	<input type="checkbox"/> A: あてはまる		67.0%	73.4%	
	<input type="checkbox"/> B: だいたいあてはまる		28.6%	22.1%	
	<input type="checkbox"/> C: あまりあてはまらない		0.5%	1.1%	
	<input type="checkbox"/> D: あてはまらない		0.5%	1.1%	
	<input type="checkbox"/> E: わからない		3.4%	2.3%	

設問6「体力向上」については、概ね肯定的な評価ですが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計が、昨年度に比べて8.2%高くなりました。体育学習発表会の形式等に関するご意見もいただいています。来年度はそれらを見直すとともに、「体力向上カード」の有効活用等を通して運動の日常化や児童の体力向上に努めていきます。

設問7「食育や給食」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の合計が95.5%でした。これは、全設問中で肯定的な回答が一番高い数値でした。HPや給食だよりを活用した情報発信や、給食レシピの配布等の効果だと考えています。これからも、季節や行事に合わせたメニューの工夫、SDGsと関連した食育の授業の充実などを通じて、食への関心や理解を高めていきます。

設問8: 学校は、ふれあい月間の設定やアンケートなどを活用して、いじめ問題への指導・対応にしっかりと取り組んでいる。	選択肢		1回目	2回目		
	1回目	34.0%	33.9%	6.9%	2.0%	23.2%
	2回目	36.2%	39.5%	3.4%	2.3%	18.6%
	<input type="checkbox"/> A: あてはまる		34.0%	36.2%		
	<input type="checkbox"/> B: だいたいあてはまる		33.9%	39.5%		
	<input type="checkbox"/> C: あまりあてはまらない		6.9%	3.4%		
	<input type="checkbox"/> D: あてはまらない		2.0%	2.3%		
	<input type="checkbox"/> E: わからない		23.2%	18.6%		

設問9: 学校は、児童理解を図るよう、日常的な声かけや面談、アンケートなどを行い、一人一人の児童の心に寄り添っている。	選択肢		1回目	2回目		
	1回目	27.6%	42.3%	11.3%	3.0%	15.8%
	2回目	36.7%	38.4%	4.0%	2.8%	18.1%
	<input type="checkbox"/> A: あてはまる		27.6%	36.7%		
	<input type="checkbox"/> B: だいたいあてはまる		42.3%	38.4%		
	<input type="checkbox"/> C: あまりあてはまらない		11.3%	4.0%		
	<input type="checkbox"/> D: あてはまらない		3.0%	2.8%		
	<input type="checkbox"/> E: わからない		15.8%	18.1%		

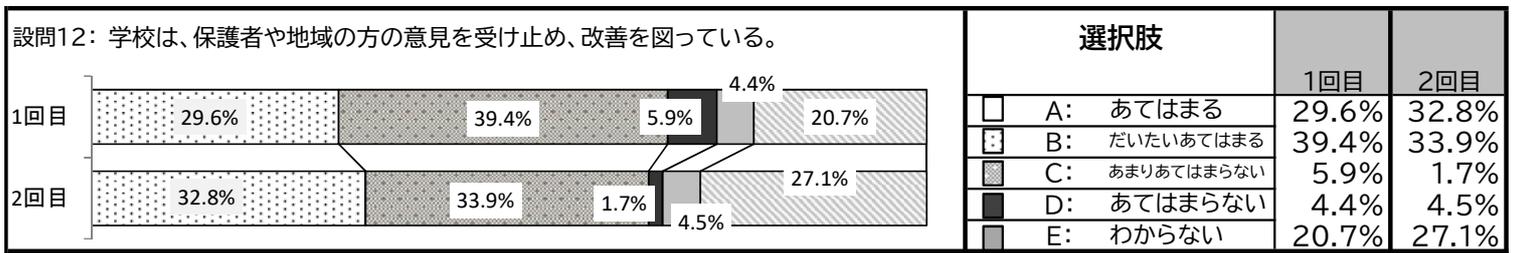
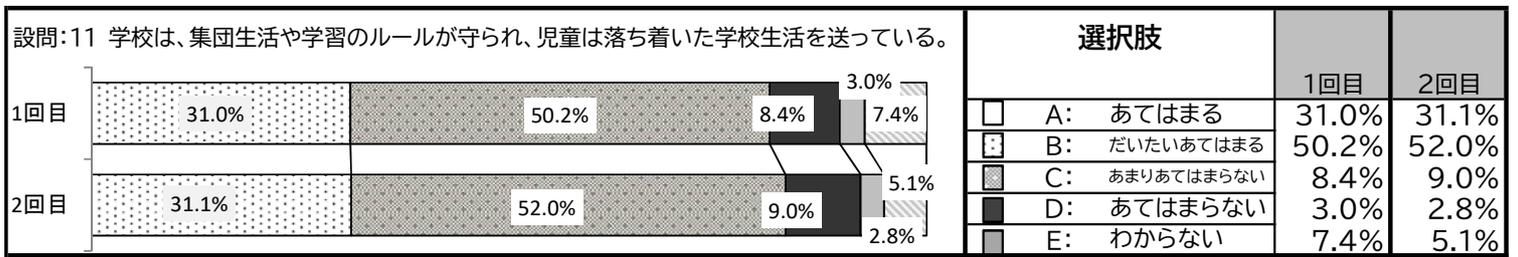
設問10: 学校は、特別支援学級や特別支援教室において、一人一人を大切に適切な指導を行ったり、全児童に特別支援の意義について伝えている。	選択肢		1回目	2回目		
	1回目	27.1%	26.1%	3.4%	0.5%	42.9%
	2回目	27.7%	25.4%	2.3%	0.0%	44.6%
	<input type="checkbox"/> A: あてはまる		27.1%	27.7%		
	<input type="checkbox"/> B: だいたいあてはまる		26.1%	25.4%		
	<input type="checkbox"/> C: あまりあてはまらない		3.4%	2.3%		
	<input type="checkbox"/> D: あてはまらない		0.5%	0.0%		
	<input type="checkbox"/> E: わからない		42.9%	44.6%		

設問8の「いじめ指導、対策」では「あてはまる」が36.2%、「だいたいあてはまる」が39.5%で合わせて75.7%でした。また、否定的な回答も1回目から3.2%減少していることから、いじめなどへの対応については、概ねご理解いただけている結果と考えます。児童の言動をより丁寧に把握し、毎学期のアンケート・毎月の「心の天気アンケート」実施と迅速な対応、校内におけるいじめ防止委員会や生活指導連絡会で情報の共有を行って早期発見・早期対応に努めていきます。児童が安心して学校生活を送ることができるように、組織的に取り組んでいきます。

設問9の「児童理解」では「あてはまる」が36.7%、「だいたいあてはまる」が38.7%で合わせて75.1%でした。二回目は肯定的評価が増加していますが、約18%の「わからない」回答が増加していることから、教員の児童一人一人への声掛けや児童と向き合う時間が不十分であったのではないかと考えています。今後は、教員による声掛けを増やし、児童と心を通わせる時間を確保するように努めていきます。

設問10の「特別支援教育」では「あてはまる」が27.7%、「だいたいあてはまる」が25.4%で合わせて53.1%でした。また「わからない」が44.6%で質問事項の中で最も高い数値となりました。来年度は、あゆみ学級と通常学級の「交流及び共同学習」の取組やおそろ教室の連携、日常的な特別教育の活動内容をさらに充実させ、保護者全体に向けて紹介を行うなどの工夫をしていきます。

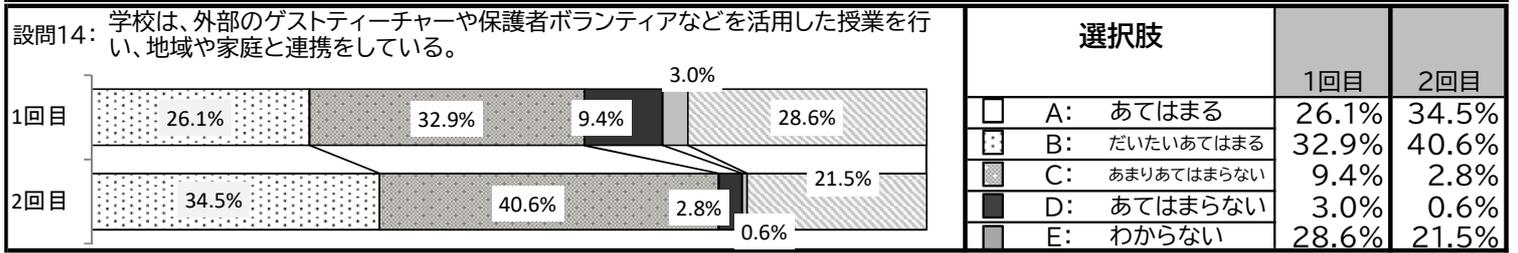
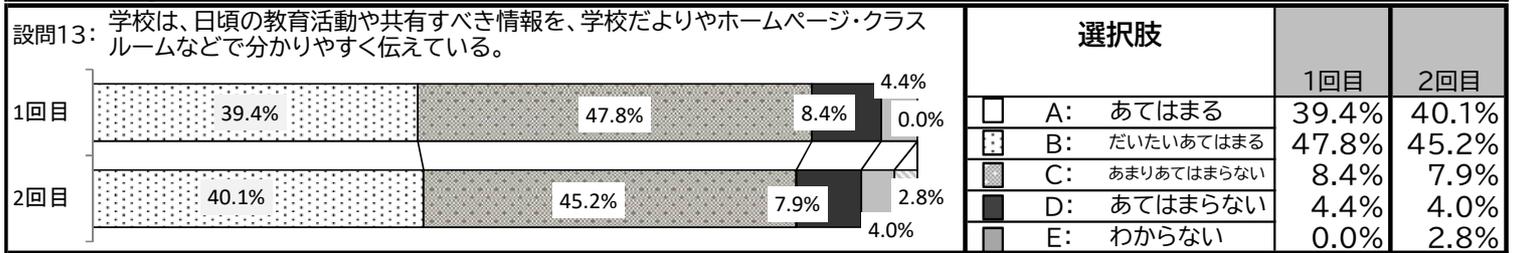
一人一人を大切に
する教育
の推進



教師力の向上と魅力ある学校づくり

設問11の「落ち着いた学校生活」では「あてはまる」が、「だいたいあてはまる」が52%で合わせて83.1%で、概ね肯定的な回答をいただきました。今後も学校生活のルールやタブレットの使い方、授業規律などを繰り返し指導することで児童に定着させていきます。また、状況に応じながら確実に家庭と学校との連携を図り、落ち着いた学校生活が送れるように取り組んでいきます。

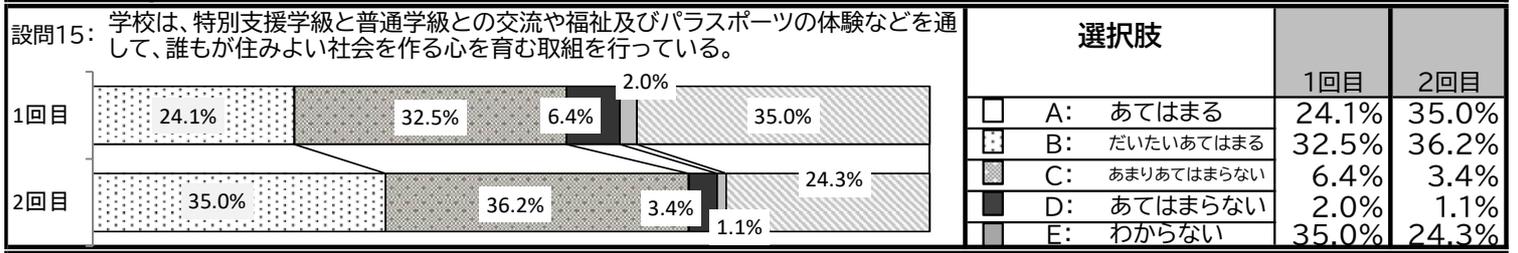
設問12の「保護者と地域の方の意見から改善を図る」では「あてはまる」「だいたいあてはまる」が合わせて66.9%でした。しかし、肯定的な回答が1回目より減少、「分からない」が増加しました。数年前まで継続的に実施してきた活動が途絶えたり、縮小したりしていることが原因と考えられます。来年度は、保護者や地域の方の意見も取り入れた学校教育、行事活動の在り方を検討していきます。また、土曜公開などで新たな保護者の方との教育活動の連携を図っていきます。



家庭・地域との連携

設問13の「日頃の教育活動の情報共有」では、肯定的な意見が1回目より減少しました。今年度より学年便りが学校便りに統一され、各学年の様子が伝わらなかったことが原因だと考えられます。今後は、更にHPやタブレットを活用して学年・学級の様子をお知らせするなどの工夫をしていきます。

設問14の「ゲストティーチャーや保護者ボランティアの活用」では「あてはまる」が34.5%、「だいたいあてはまる」が40.6%で合わせて75.1%と概ね肯定的な回答でした。授業の充実を図る上でも家庭や地域との連携は欠かせないものです。児童一人一人を大切に、保護者の皆様とつながり、共に育てていく学校を常に目指します。



特色ある教育活動

設問15の「特別支援学級との交流や福祉及びパラスポーツ体験」では「あてはまる」が35.0%、「だいたいあてはまる」が36.2%であり、肯定的な回答は71.2%でした。今年度は「インクルーシブ教育」を軸とした特別支援学級と普通学級の交流授業が始まったり、パラリンピックの選手を招いた体験活動や介助犬ユーザーの方との交流などを行ったりしたからだと考えられます。今後も、児童に交流や体験を通して「誰もが住みよい社会を作る心」を育めるように取り組んでいきます。

自由記述欄(要約)

【学習発表会】

○肯定的な意見	○要望や改善点など
<ul style="list-style-type: none">・久しぶりに舞台での発表を見られてよかった。・保護者の鑑賞が学年入れ替え制だったので見やすかった。・子供たちがこれまでに学んだことを工夫して発表していたよかった。・子供が本番に向けて表現の仕方を考えたり、練習をがんばったりしていた。舞台での堂々とした姿が素晴らしかった。	<ul style="list-style-type: none">・席を確保するために並ばなければいけなく、前の学年の発表を見られなかった。・これまでのような演劇や音楽がなくなり残念だった。一体感を感じることができなかった。・子供が発表する時間に差があった。・舞台で発表する位置が分からず、見えづらかった。

【土曜授業】

○肯定的な意見	○要望や改善点など
<ul style="list-style-type: none">・学校の雰囲気を知る事ができるので、良い取り組みだと思う。・楽しく学びに取り組んでいる子供の姿を見ることができてよかった。・コロナ禍が収束して自由に参観ができるようになったことで、保護者の来校が増えて活気が戻ってきた。	<ul style="list-style-type: none">・回数が多い。毎月無くてもよい。2ヶ月に1回で充分。・保護者参加型の授業は困る。仕事で行けないときに子供が悲しい思いをする。・授業中に学習に関係ない行動をする子供がいたので、しっかりと指導してほしい。

※その他、多数のご感想やご意見をいただきました。教職員で回覧し、今後の学校改善の参考とさせていただきます。
※学校ホームページにも掲載しておりますので、随時ご覧ください。